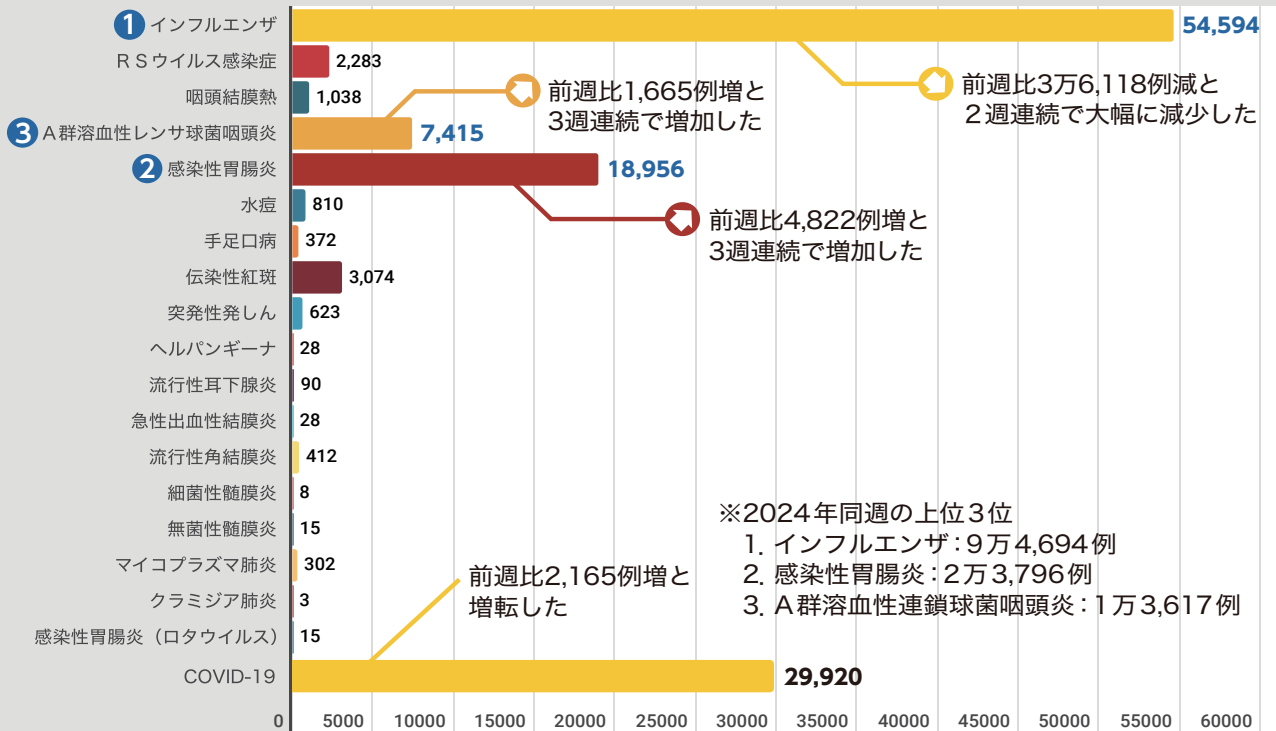




国立感染症研究所が発表する感染症発生動向調査週報「定点把握疾患(週報告)、累積報告数、定点当たり累積報告数、都道府県別」に基づいて、毎週の感染症報告動向をお届けする。

胃腸炎やA群溶連菌が増加、インフルは大幅減

丸数字は上位3位 ※COVID-19は除く



※2024年同週の上位3位
 1. インフルエンザ: 9万4,694例
 2. 感染性胃腸炎: 2万3,796例
 3. A群溶血性連鎖球菌咽頭炎: 1万3,617例

(国立感染症研究所のデータを基に編集部作成)

①インフルエンザ

報告数

1. 埼玉県: 3,126例
2. 神奈川県: 2,860例
3. 東京都: 2,759例

定点当たりの報告数(11.06)

- | | | | |
|---------------|---------------|---------------|----------------|
| 1. 山形県: 25.31 | 4. 沖縄県: 18.77 | 7. 富山県: 16.46 | 10. 徳島県: 15.95 |
| 2. 新潟県: 20.62 | 5. 高知県: 17.59 | 8. 長崎県: 16.14 | 11. 福井県: 15.33 |
| 3. 石川県: 19.15 | 6. 宮城県: 17.24 | 9. 長野県: 16.05 | 12. 宮崎県: 15.03 |

②感染性胃腸炎

報告数

1. 東京都: 2,097例
2. 神奈川県: 1,363例
3. 大阪府: 1,167例

定点当たりの報告数(6.06)

- | | | | |
|---------------|--------------|---------------|---------------|
| 1. 大分県: 16.97 | 4. 福岡県: 8.67 | 7. 東京都: 7.97 | 10. 山口県: 7.53 |
| 2. 佐賀県: 9.43 | 5. 熊本県: 8.65 | 8. 宮崎県: 7.97 | 11. 奈良県: 7.35 |
| 3. 石川県: 9.07 | 6. 富山県: 8.00 | 9. 鹿児島県: 7.63 | 12. 千葉県: 7.33 |

③A群溶血性連鎖球菌咽頭炎

報告数

1. 東京都: 610例
2. 北海道: 541例
3. 福岡県: 492例

定点当たりの報告数(2.37)

- | | | | |
|--------------|--------------|--------------|----------------|
| 1. 富山県: 5.34 | 4. 鳥取県: 4.37 | 7. 北海道: 3.98 | 10. 山口県: 3.60 |
| 2. 茨城県: 5.31 | 5. 福岡県: 4.13 | 8. 大分県: 3.69 | 11. 宮崎県: 3.44 |
| 3. 新潟県: 4.44 | 6. 岩手県: 4.00 | 9. 千葉県: 3.67 | 12. 鹿児島県: 3.35 |

今週の感染症動向

インフルエンザは2週連続で大幅に減少し、定点当たりの報告数では警報レベル(30.00)の地域はなかった。しかし注意報レベル(10.00)にある地域は32府県と、全国的な流行が続いている。感染性胃腸炎は第2週から増加が続いており、2024年第3週(2万3,868例)以来の2万例超えも近そうだ。地域別の定点当たりの報告数は大分県が16.97と突出して多い。A群溶血性連鎖球菌咽頭炎も第2週から3週連続で増加した。伝染性紅斑は5週ぶりに3,000例を超え、例年に比べかなり多い状況が続いている。定点当たりの報告数は青森県(3.43)が警報レベル(3.00)を超えており、埼玉県(2.84)、栃木県(2.73)がこれに迫っている。COVID-19は前週から増転した。昨年同週(7万3,607例)に比べると低値だが、昨年末のインフルエンザのような急激な増加も懸念される。他の感染症とともに、引き続き動向を注視したい。